

価値観と倫理チェックリスト

日付：_____

1. 各セッションは、希望があること、人は良くなることができ、長期間にわたって良い状態を保つことができ、人生で望むことを行うことができるという前提を支持している。

- 指標：参加者はセッションで心地よく、リラックスしているように見える（はい／いいえ）
- 指標：参加者の反応は、彼らが希望の感覚を持っている、あるいは育みつつあることを示している（はい／いいえ）
- 指標：参加者はリカバリーを含む将来の計画を立てている（はい／いいえ）

2. 自己決定、個人の責任、エンパワーメント、セルフ・アドボカシーは、本プログラムの主要な側面である。

- 指標：参加者は、自分の人生に対するコントロールをどのように保ってきたか、あるいは取り戻してきたかを共有している（はい／いいえ）
- 指標：すべてのトピックが、自己決定、エンパワーメント、セルフ・アドボカシーへの重点を反映している（はい／いいえ）

3. 本プログラムはグループでの意思決定と個人の共有を支えている。

- 指標：グループに関するすべての決定はグループによって行われ、グループメンバーが問題の解決方法を決める（はい／いいえ）
- 指標：時間と主題の範囲内での個人的な共有が奨励され支えられている（はい／いいえ）

4. 参加者は、尊厳、思いやり、相互の敬意、無条件の高い評価をもって平等に扱われる。

- 指標：ファシリテーター自身の報告と互いの観察により、すべての参加者が尊厳、思いやり、相互の敬意、無条件の高い評価をもって平等に扱われていることが示されている（はい／いいえ）

5. 人がありのままのユニークで特別な個人であることへの無条件の敬意があり、文化的多様性（民族性、言語、宗教、スピリチュアリティ、人種、性自認、年齢、子育て、軍歴、障害、性的指向、「準備状況」への配慮を含む）に配慮している。

- 指標：各セッションで、ファシリテーターはグループに、自分たちが良く扱われていると感じるか、自分たちのニーズが配慮されていると感じるか、プログラムが多様性を支えていると感じるかを尋ねる（はい／いいえ）

6. 差別や無礼な発言に対して一切の許容がなく、ファシリテーターは必要に応じて配慮し介入する。

- 指標：（はい／いいえ）

7. 本プログラムは、リカバリーに限界はないという前提に基づいている。

- 指標：参加者のすべての目標と計画は、審判されることなく支持されている（はい／いいえ）

8. 参加者には選択肢や可能性を探索する機会が与えられ、単純で最終的な答えを見つけることは期待されない。

- 指標：ファシリテーターは、セッションの雰囲気が選択肢や可能性を支えるものであったことに同意している（はい／いいえ）

9. すべての参加は任意である。

- 指標：ファシリテーターは、すべての参加が実際に任意であったことに同意している（はい／いいえ）
- 指標：各セッションには、グループ全体または小グループを含む複数の相互交流的な演習が含まれている（はい／いいえ）

10. それぞれの人が自分自身についての専門家であると理解されている。

- 指標：ファシリテーターは、参加者が自らの経験に基づいて話し、自らの自己認識に基づいて自分自身の決定を行うことを支えられていたことに同意している（はい／いいえ）

11. 焦点は、認識された欠陥からではなく、個人の強みに当てられている。

- 指標：ファシリテーターと参加者は、焦点が人々の得意なことに当てられており、否定的な判断や欠陥に基づく評価がなかったことに同意している（はい／いいえ）

12. 臨床的・医学的・診断的な言葉づかいは避けられている。

- 指標：ファシリテーターは、臨床的・医学的・診断的な言葉づかいを使用しなかったことに同意している（はい／いいえ）

「いいえ」にチェックが入った項目については、変更のための計画を立てる。

13. 焦点は、協力して取り組み、仲間同士が互いから学び合うことで、相互理解と知識を深め、ウェルネスを促進することに当てられている。

- 指標：（はい／いいえ）

14. 本プログラムは、誰にとっても単純で安全な戦略を重視し、有害な影響を及ぼしかねない戦略は避ける。

- 指標：ファシリテーターと参加者は、どの戦略が単純で安全であるかについて合意しており、ファシリテーターは有害な副作用を及ぼしかねない戦略から議論をそらし、これらのトピックについて参加者に情報を提供する資源へと導く（はい／いいえ）

15. 困難な感情や行動は、トラウマ的な状況への正常な反応と見なされる。

- 指標：ファシリテーターと参加者は、困難な感情や行動が、起きていたことの文脈の中で見られ、症状や診断としては見られなかったことに同意している（はい／いいえ）